時間外投げ込み

臨　時　農　業　生　産　情　報
（落雷・降ひょう・強風に対する技術対策）

令　和　８　年　１　１　月　５　日
青森県「農林水産力」強化本部

青森地方気象台発表（２０２６年１１月５日１１時００分)「青森県の時系列情報」によると、津軽と下北では、６日昼前から夜遅くにかけて、大気の状態が不安定となる見込みです。落雷や突風、降ひょうに注意してください。

また、２０２６年１１月５日１６時５３分発表の「気象解説情報（強風）第１号」によると津軽と三八上北では７日は西よりの風が強まる見込みです。気圧の傾きが予想以上に大きくなった場合は、警報級の西よりの強い風となる可能性があります。

今後の気象情報に十分注意し、次の事項に留意して、被害の未然防止と軽減に努めてください。

１　りんご・特産果樹

（１）低地や排水不良の園地では、排水溝を設けるなどの排水対策を行う。
（２）防風網やわい性台樹の結束状況などを点検し、補強や取替えを行う。
（３）幹や主枝などに空洞が生じている樹や腐らん病の被害を受けた枝や樹は、支柱で支え、ロープなどで補強する。幼木は倒伏しやすいので支柱を立てて結束する。
（４）収穫適期を迎えている品種は、風当たりの強い場所を優先して速やかに収穫する。
（５）降雨時に収穫する場合は、果実に泥が付着しないように注意する。また、落下した果実は、収穫した果実に混入させない。
（６）樹が倒伏した場合は、根を切らないよう注意しながらできるだけ早く起こし、支柱で支える。
（７）降ひょうがあった場合は、果実を損傷程度に応じて生食向けと加工向けに区分する。

２　野菜・花き・畑作

（１）ビニールハウスでは、倒壊したり被覆資材が飛散しないよう施設の点検、補修を行うとともに、マイカ線や支柱などで補強する。
（２）露地野菜のマルチ資材は、飛散しないよう土等でしっかり固定する。
（３）ほ場や施設周辺にある排水溝の点検や整備などの排水対策を行うほか、施設への雨水流入を防ぐために土のうを設置する。
（４）ほ場やビニールハウスを点検し、マルチ資材やパイプ等の損傷がある場合は速やかに修復する。
（５）降ひょうなどにより損傷を受けた場合は、病気が発生しやすくなるので、まん延しないよう、薬剤散布する。
（６）大豆で倒伏等により品質低下が懸念される場合は、被害を受けなかったほ場と区別して収穫する。

３　畜　産

（１）畜舎に雨水が流入した場合に備え、早めに除ふん作業を済ませ、紙袋の飼料等は浸水しない場所に移動する。

（２）ロールベールサイレージは、ストレッチフィルムの破損を防ぐため、ブルーシート等で覆う。

（３）畜舎等は、破損を防ぐため、支柱等で補強するとともに、シャッターや窓などを完全に閉める。

（４）畜舎が浸水した場合は、家畜伝染病の発生を予防するため、消毒を徹底する。

（５）ロールベールサイレージのストレッチフィルムが破損した場合は、破損部分を速やかに補修するとともに、できるだけ早く家畜に給与する。

（６）浸水等の被害を受けた飼料は、品質を見極め、十分注意して給与する。

報道機関用提供資料		
担当課 担当者	（りんご等果樹） （野菜・花き）【発行元】 （畑作） （畜産）	りんご果樹課生産振興グループ ＧＭ　工藤　秀樹 農産園芸課野菜・花き振興グループ ＧＭ　木村　一哉 農産園芸課稲作・畑作振興グループ ＧＭ　鈴木　晃 畜産課経営支援グループ ＧＭ　梶田　昌裕
電話番号	（りんご等果樹） （野菜・花き） （畑作） （畜産）	直通　０１７－７３４－９４９２　内線　５１４６ 直通　０１７－７３４－９４８１　内線　５０７６ 直通　０１７－７３４－９４８０　内線　５０７３ 直通　０１７－７３４－９４９６　内線　４８１４
報道監	農林水産部 次長　内山　真人（内線：４９６６） 次長　相馬　宏伊（内線：４９６７）	

【おしらせ】

青森県では、臨時農業生産情報をパソコンやスマートフォンにメール配信するサービスを実施しています。青森県農業情報のホームページ「農なび青森」からお申し込みください。

また、青森県農林水産部公式LINEでは、臨時農業生産情報の発表をプッシュ通知でお知らせしています。その他農業経営に役立つ情報も随時配信していますので、ぜひご登録ください。

農なび青森のＨＰアドレス
（https://www.nounavi-aomori.jp/）
「トップページ」→「農業情報ページ」→「農業情報」
に掲載

農なび青森　QRコード

青森県農林水産部公式LINEアカウント登録方法

以下のいずれかの方法で友達登録が可能です。
・右のQRコードを読み込み
・LINEアプリの「友達追加」画面から「検索」を選択し、
「@aomorinourin」と入力

青森県農林水産部公式LINE
QRコード